

<p>事業名：歴史的建造物活用事業</p>	<p>担当課：教育委員会 文化課</p>
<p>事業概要</p> <p><b>【目的】</b></p> <p>市の歴史や文化を物語る由緒ある歴史的建造物は貴重な文化・観光資源である。この歴史的建造物を持続的に保存活用した新しいビジネスモデルを創出し、事業展開を行うことにより雇用を見出すとともに、新たな起業家を創出する。また、市の魅力を発信することにより来訪者の増加につなげる。</p> <p><b>【内容】</b></p> <p>歴史的建造物を活用した新しいビジネスモデル創出のために平成27年7月に小城町西小路にある武家屋敷を活用したカフェ・ギャラリー「小城鍋島家T e n」をオープンした。</p> <p>ここを拠点に歴史的建造物を活用したビジネスモデルを発展させるため、平成28年度に以下の取組を行った。</p> <p>(1) ビジネスモデルの展開(地域住民と交流するための農業体験など)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐賀大学と連携し、講義の中で学生を4班に分けグループワークを行い、学生企画の「鍋島家T e n 1周年記念イベント」を実施</li> <li>・荒れていた敷地内の畑を地区の人達と整地、区画して貸出（貸出料 年間7000円）</li> <li>・収穫した野菜は、販売またはランチの食材として利活用</li> <li>・平成29年1月1日「小城鍋島家T e n園芸クラブ」発足（会員は、市民活動団体、子育てサークル、個人など）</li> </ul> <p>(2) ビジネスモデルセミナー（先進事例）開催、相談、アドバイス</p> <p><b>事例紹介</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月11日 「一般社団法人SINKa」（福岡市）                      テーマ「女性視点で歴史・文化残る小城鍋島藩屋敷、全国初の88歳のおばあちゃんと地域の宝を活かした古民家ビジネス」                      ※SINKa・・・九州の社会起業家・社会起業家を支援するネットワーク</li> <li>・11月26日 第40回黄美展&amp;アートプロジェクト（ゆめぷらっと小城）                      テーマ「小城と多久の明日を語ろう」</li> </ul> <p><b>相談</b></p> <p>小城市小城町 齊藤商店 「古民家活用」宿泊所</p> <p>(3) 新商品の開発</p> <p>牛津町の古賀巳代吉氏が生産しているぶどうを加工した「ブラックパール」を大分県安心院町ドリームファームの協力を得て小城鍋島家T e nオリジナルの本格商品化した。東京銀座三越デパートで開催された「SAGAフェア」に出店した。</p> <p>(4) 講演会など</p> <p>小城鍋島家T e n（西小路鍋島家）に伝わった歴史資料の「柳生新陰流」資料にまつわる講演会を小城市教育委員会文化課と協働で近くの桜城館（歴史資料館）にて開催した。その後、小城藩主ゆかりの岡山神社で新陰流型の実演を行い、小城鍋島家T e nで情報交換を行った。</p> <p>観光ボランティアと連携し、市内の散策コースの検討を行い、滞在型の観光を目指した。</p>	

地方創生加速化交付金事業のKPI		指標値		事業効果	理由
		目標値	実績値 (H28)		
歴史的建造物を活用した起業相談数		2人	相談数 5人、2団体 ※実現2件	地方創生に相当効果があった。	歴史的建造物（武家屋敷）を活用し、ギャラリー、カフェ「小城鍋島家Ten」を開店。新しいビジネスモデルが創出・展開できた。平成28年度も起業相談も7件あり関心の高さがうかがえる。
歴史的建造物を活用した事例総数		2件	7件	地方創生に相当効果があった。	市内の歴史的建造物（齊藤商店）を活用にむけて所有者と協議を行った。天山酒蔵、小柳酒造、深川家住宅、羊羹資料館、牛津会館、牛津赤れんが館、ルーテル小城教会ではイベントが開催され活用された。
上記以外の参考指標		指標値		理由	
		実績値 (H27)	実績値 (H28)		
1	小城鍋島家Ten 来場者数	4,725人	5,200人	カフェ、ギャラリーの開設、イベントの開催により多くの方が訪れ情報発信等につながった。柳生新陰流の講演、型の実演など。	
2	先進事例セミナー 開催回数 参加者数	1回 24人	SHINKA におけるセミナーに18人 参加。	2回、講師として他所で小城鍋島Tenの活動事例発表。	